



学校だより

平成 28 (2016) 年 2 月 13 日

カンタベリー日本語補習校

校長 古川 明

《4 学期が始まりました！・・・来年度も 39 日と決定しました・・・》

長い夏休みも終わり、4 学期が始まりました。この夏休み期間中、普段体験できない活動や見聞を通して、子どもたちは豊かな感性を育み、多様な社会での生き方について学ぶ機会も多かったのではと思います。

さて、学校だより 1 2 月号で「授業 40 日への保護者意向調査実施」のお知らせをいたしました。その中で、授業 1 日増の趣旨を 3 項目にわたって記載いたしました。今回の意向調査にご協力をいただいた皆様、誠にありがとうございます。意向調査への回答率は、全保護者世帯の 39% でした。回答いただいた保護者皆様の意向は、全回答の 71% の方が賛成でした。しかし、29% の方からは同意をいただけませんでした。授業 1 日増は、約 20 ドルの経費がかかるため、保護者皆様の理解が深まり、賛成者の割合がより高い状態でないと、実施は難しいと判断いたしました。そのため、来年度、授業 1 日増は、行わないことに決定いたしました。

子どもたちの国語（日本語）力を向上させるためには、知識、技能の習得と学び合い学習を通して思考力、判断力、表現力を磨き合うことが大切です。教員チームは、2 年間の授業実践研究を通して、授業改善と授業力の向上に努めております。補習校の教育は、学習規律を高め、学び合い学習を推進することが大切です。学び合い学習を通して、子どもたち一人ひとりの学習意欲を高め、「確かな学力」の向上をめざし、教育環境を整えることが重要です。このことは、教室の学習と家庭の学習の双方が、より充実した教育環境をめざすこととなります。子どもたちの「確かな学力」の向上に向けて、保護者皆様との意見交換を図りながら共通理解をさらに深めていきたいと思っております。今後ともよろしくお願いたします。

《中学部 3 年生・卒業キャンプ、小学部 6 年生・社会科見学、両学年とも夏休みに実施》

中学部 3 年生の卒業キャンプは 1 月 26 日（火）から 1 泊 2 日の日程で実施しました。昨年同様に、スプリングフィールドにある「スマイリーズ アコモデーション」で行われました。1 日目は、キャッスル・ヒルでの昼食・散策、レイク・リンドンでのカヤックに取り組みました。キャッスル・ヒルでは青空が広がり、天候に恵まれての野外散策となりました。湖でのカヤックは、パドル操作や安全指導について、昨年度と同様にダーフィールド高校の先生にお願いしました。天候は曇り空でしたが、比較的浅いところでカヤックの実習を行いました。生徒は、瞬間に上達し、貴重な体験を積むことができました。2 日目は、天候の影響により、予定を変更して地区の体育館で軽スポーツやゲームを行いました。2 日間の様々な活動にふれながら、お互いに友達のことを気遣いながら行動する優しさや思いやりのある生徒達です。義務教育課程の学齢が終えるこの時期、ご家庭でお子さんを、愛情深く育てられたことがよく分かりました。保護者皆様に、深く感謝申し上げます。

小学部 6 年生の社会科見学は、1 月 28 日（木）、クライストチャーチ市内レッドゾーン地区の地震被害状況や市中心部の復興状況について、市広報担当リンダさんの案内でバス内から見学しました。その後、天候の影響により、予定を変更してマーガレット マフィ公園で昼食・散策、クライストチャーチ市博物館の見学を行いました。クライストチャーチ地震から、今月で 5 年が経過します。地盤が軟弱なためレッドゾーンに指定され、建物の建築が禁止されている場所を見学しました。地盤の陥没が進んでいるため、川の水面が少し上昇すると、辺り一面、湖のようになってしまいます。市内中心部では、大小様々な建物が取り壊され、瓦礫もすっかり撤去されていました。市の復興計画に基づき、公共的建物が建築されている最中です。リンダさんの丁寧な説明を聞いて、6 ヶ年計画で市や国が協力して建設を進めていることが分かりました。6 年生の児童は、社会科見学を通して地震の被害状況や、市中心部の復興の様子を報告にまとめることにしております。ご期待ください。

